

総合型選抜 アサーティブ入試

【アサーティブ入試出願資格（一般枠）】

アサーティブプログラムにおいて、ガイダンス・個別面談を少なくとも1回以上受けた者で、次の(1)～(4)のいずれか1つに該当し、かつ、(ア)(イ)の条件を満たす者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者、または2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達する者

- (ア) 本学を第1志望とし、誠実で学習意欲があり、合格後必ず本学へ入学する意思のある者
(イ) アサーティブプログラム修了認定書を提出できる者

【アサーティブ入試出願資格〈家政・生活科学系男子 特別入試制度（男子枠）〉】

アサーティブプログラムにおいて、ガイダンス・個別面談を少なくとも1回以上受けた者で、次の(1)～(4)のいずれか1つに該当し、かつ、(ア)(イ)の条件を満たす男子

※アサーティブ入試I期のみ実施。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者、または2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達する者

- (ア) 本学を第1志望とし、誠実で学習意欲があり、合格後必ず本学へ入学する意思のある者
(イ) アサーティブプログラム修了認定書を提出できる者

【選考方法（一般枠・男子枠共通）】

アサーティブプログラムの成果検証等の結果、出願書類による総合判定

※出願後は出願書類による判定のみを行うため、来学の必要はありません。

【出願上の注意（一般枠・男子枠共通）】

アサーティブ入試の出願には、事前にアサーティブプログラムの成果検証を受け、修了認定を受けていることが必要です。アサーティブプログラムの修了を認定された方は、出願期間内に本学インターネット出願サイトにて出願登録を行った後、必要な書類を印刷し、調査書と合わせて郵送してください。

なお、出願書類郵送後は、他大学及び本学他学科等への併願はできません（専願）。

アサーティブ入試I期／家政・生活科学系男子 特別入試制度

【家政・生活科学系男子 特別入試制度 導入の背景】

本学の専門分野である「家政学」は、より良い生活を実現するための知識や技術を研究する学問です。

家政学は現代社会において求められるさまざまなスキルを身につけることができ、衣食住をはじめとした日常生活に関連するあらゆるものを研究対象としています。

最近では新型コロナウイルス感染症拡大を機に、リモートワークの導入が進み、働く場所にとらわれない多様な働き方が社会に浸透しました。私たちの生活や働き方も多様化してきていますが、こうした社会の変化に対応し、より良い暮らしを提案するために必要な力を身につけることができる家政学は、性別に関係なく重要な学問です。

家政学はかつて、女性特有の学問と見なされがちでした。

本学も家政学を領域とする教育機関として、長年にわたり女性の教育を支援してきましたが、家政学が男性にとっても重要な分野であることを考慮し、令和8年度から全学共学となります。

本学は、多様な職業選択やライフスタイルを男女平等に享受できる社会の実現をめざし、その一環として「学生の多様性の促進と学部の活性化」、「優れた学生の獲得」、「学部におけるジェンダーバランスの向上」を期待し、特に「家政学」に強い関心を持ち、学ぶ意欲を示す男子に対して特別入試制度を設けます。

◆ 建学の精神(KVA精神)

「知識と技術を高めるだけでなく、その真ん中にある、最も大切な徳性を養う」

知識(Knowledge) ➡ 知識を高める

徳性(Virtue) ➡ 徳性(人間性)を養う

技術(Art) ➡ 技術を磨く

本学の建学の精神である「KVA精神」は、創立者である大江スミが掲げた「人々のしあわせにつながる家政学」という理念を基盤とし、良き社会人であり良き家庭人の育成をめざして、本学ではこの精神が、今なお大切に受け継がれています。

◆ 求める人物像

- 本学建学の理念、教育についての考え方に共鳴できる。
- 自ら率先して行動し、他者を理解しようとするあたたかな心を持っている。
- 多面的な視点で、生活のあらゆる領域から社会を学ぼうとする好奇心に溢れている。
- 歴史を振り返り、世界に視野を広げ、人間としての多様な生き方、働き方を求めている。
- 本学で学んだことを活かし、社会に貢献するために他者との協働を積極的に行う共感力を持とうとしている。

◆ 実施入試種別

総合型選抜 アサーティブ入試I期

◆ 募集学部・学科

現代生活学部 現代家政学科
人間栄養学部 人間栄養学科
生活共創学部 生活共創学科
こども教育学科

◆ 募集人員

各学部・学科の総合型選抜における合計人員の1割程度

【アサーティブプログラムの成果検証 エントリー書類】

以下の書類をそろえてエントリー締切日までに郵送してください。

◆ エントリーシート

- 本学ホームページから印刷したものを使用し、黒ボールペン（油性のみ、消せるタイプは不可）を用い、必要事項を記入してください。
- 写真（タテ4cm×ヨコ3cm）は、カラー・白黒のどちらでも構いません。無帽、上半身正面が鮮明に写っているもので、写真の裏面にエントリー学科及び氏名を記入し、貼りつけてください。
- エントリー学科の希望する検証日を1つ選択し、□にチェックをつけてください。

◆ 志望理由書

- 本学ホームページから印刷したものを使用し、黒ボールペン（油性のみ、消せるタイプは不可）を用い、以下の項目について800字以内で記述してください。（書き方は自由です）
 - ① 東京家政学院大学の志望学科への志望動機
 - ② 志望学科で学びたいこと
 - ③ 大学卒業後、志望学科での学びをどのように活かしたいか

◆ MANABOSS 学習認定証明書（ゴールドまたはシルバー）※提出は任意です。

- MANABOSSシステムの各科目における解答数に応じて発行される学習認定証明書がある場合は、MANABOSSシステムから印刷して同封してください。最大で10点加点されます。（P17参照）

【エントリー書類の郵送について】

- 封筒は必ずA4タテ型（角2）を使用してください。
- 封筒には必ず氏名、郵便番号、住所、エントリーする学科を明記してください。
- エントリーに必要な書類がそろっていない場合には、エントリーを受け付けられません。
- エントリーの受付期間は期によって異なりますので、必ずP16のフローチャートを確認してください。
- 郵便局窓口で「簡易書留、速達」で郵送してください。

【注意事項】

- 複数の学科に同時エントリーすることはできません。ただし、アサーティブプログラムの成果検証結果において、修了認定書が取得できなかった場合には、次の期以降に再度エントリーすることができます。その際は、エントリー学科を変更しても構いません。
- 原則として、エントリー書類は返却しません。
- エントリー時に入学検定料の納入は必要ありません。

速 達

102-8341

東京都千代田区三番町22番地

東京家政学院大学
アドミッションオフィス 御中

総合型選抜 アサーティブ入試
エントリー書類在中

簡易書留

注：重要な書類の送付のため、郵便の際は必ず郵便局の窓口で「簡易書留、速達」にて郵送してください。
このページをコピーして、宛名として使用してください。

アサーティブ入試 フローチャート



※アサーティブ入試I・II期で合格または入学手續した方は、KVAスカラシップALLの判定を行う一般選抜A方式I期(2科目受験型)を受験できます(P27参照)

アサーティブプログラムの成果検証（修了認定）方法

【基礎学力適性検査】

- (1) 解答科目：「国語」（必須）及び「英語」または「数学」から1科目（選択）の合計2科目を解答（マークシート）します。
- (2) 解答数：1科目につき、25問（合計50問）
- (3) 解答時間：60分
- (4) 出題範囲：MANABOSSの中にある「国語」「英語」「数学」から各25問を出題します。
ただし、「英語」のObest英語、NGSL英語、「日本英語検定協会」の問題、
「東京家政学院バカロレア」の問題は除きます。

【グループディスカッション】

- (1) 人数：志望学科を問わず、1グループ5～6名で編成し、ディスカッションしていただきます。
- (2) 試験時間：30分（試験官の説明5分、シンキングタイム5分、ディスカッション20分）
- (3) テーマ：全学科共通のテーマとします。

【面談】

- (1) 面談方法：エントリー者1名に対し、2名の教職員で個人面談（1回）を行います。
- (2) 面談内容：「志望理由書」を中心に行い、本学で学ぶ理由が明確であるか、学ぶ意欲を持っているかなどを確認します。
- (3) 面談時間：約15分間行います。

【MANABOSS 総解答数による加点】

- (1) 加点条件：シルバーまたはゴールドの学習認定証明書を提出した方に限り加点します。
- (2) 加点内容：◇シルバー学習認定証明書
「国語」「英語」「数学」の3科目を各200問、合計600問解答すると発行されます。
◇ゴールド学習認定証明書
「国語」「英語」「数学」の3科目を各300問、合計900問解答すると発行されます。
- (3) 加点点数：◇シルバー学習認定証明書提出者 5点
◇ゴールド学習認定証明書提出者 10点

【評価の方法】

「基礎学力適性検査」「グループディスカッション」「面談」をもとに、結果を総合的に評価し、アサーティブプログラムの修了認定書交付者を決定します。
アサーティブプログラムの修了認定書交付結果については、認定の可否にかかわらず、成果検証を受けた全員に通知します。

- (1) 配点：
基礎学力適性検査（100）＋ グループディスカッション（50）＋面談（50）＋MANABOSS加点（10）＝210点
- (2) 評価内容：
本学建学の精神、アドミッションポリシーに基づき、提出された書類及び基礎学力適性検査、グループディスカッション、面談を通じて、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を多面的・総合的に評価します。
また、志望動機（本学で学ぶ明確な理由）、志望学科への理解度、学ぶ意欲等も合わせて評価します。